

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立愛宕山少年自然の家
 所管課 子育て支援局 子育て政策課
 指定管理者 公益財団法人山梨県青少年協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人 山梨県青少年協会	○	H18.4.1	～	H21.3.31	3年	170,615,000
公益財団法人 山梨県青少年協会 (H23.3.31まで財団法人)	○	H21.4.1	～	H26.3.31	5年	285,401,000
公益財団法人 山梨県青少年協会	○	H26.4.1	～	H31.3.31	5年	308,232,000
公益財団法人 山梨県青少年協会	○	H31.4.1	～	R5.3.31	4年	242,941,000

2 施設の概要

所在地	甲府市愛宕町358-1
設置年月日	昭和48年8月9日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立少年自然の家設置及び管理条例
設置目的	恵まれた自然の中で少年の豊かな情操を養うとともに、集団宿泊生活を通して自立、協同、友愛及び奉仕の尊さを体験的に学習させ心身ともにたくましい少年を育成するため、少年自然の家を設置する。 ※山梨県教育委員会からの管理運営事務の委任年月日 昭和48年8月1日
主な業務の内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 (4)野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 (5)体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○建物面積 2,663㎡ ○建物の構造 鉄筋コンクリート造、地上4階建て ○施設の内容 ・1階 大ホール 144㎡ ・2階 工作室 78㎡、第一研修室 74㎡、第二研修室 67㎡、 展示ロビー 73㎡ ・3階 食堂 156㎡、浴室 ・4階 談話室、宿泊室 23㎡(15部屋、各10名定員)、事務室 96㎡
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	一括管理施設:山梨県立愛宕山こどもの国

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	62,654,786	63,368,983	65,996,419	61,799,757	65,784,077	
支出合計	54,317,316	53,875,357	60,282,576	54,526,673	51,250,653	
収支差額	8,337,470	9,493,626	5,713,843	7,273,084	14,533,424	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	18,722人	15,238人	12,889人	2,470人	3,333人	施設利用者数、 事業参加者数の合計
利用者 満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかとい えば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和3年度)

令和3年度の利用者数の目標値は2,628人であったが、実績値は3,333人であり目標値を達成した。新型コロナウイルス感染症の影響により全国的な外出自粛(ステイホーム)傾向が続く中ではあるが、感染対策に努め、満足度の高いサービスを提供していることが目標達成の要因として挙げられる。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前に比べると、依然として大幅に利用者数が減少している状況であるので、引き続き、十分な安全対策を図るとともに、利用者に安心して楽しんでいただける事業の展開に努めていく必要がある。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

施設は業務計画書等に基づき適切に管理されている。
アンケート調査による利用者満足度も「満足」・「どちらかといえば満足」と回答した割合が100%となっており、概ね適切に運営されている。
定期評価では、新型コロナウイルス感染拡大防止臨時特別要請の影響で目標が達成できない事業もあったものの、施策推進業務については概ね適切に運営されていると評価した。一方で、運営経費については、多額の執行残が発生していることから、利用者の利便性や快適性の向上のため予算を効果的に活用するよう指導した。
利用者数についても着実に回復してきているが、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前に比べると依然として大幅に利用者数が減少している状況にあるので、引き続き、十分な安全対策を図るとともに、利用者に安心して楽しんでいただける事業の展開に努め、閉所するまでの間、できるだけ多くの方に利用していただけるよう、利用者等の増加に向けた取り組みを積極的に実施すること。
また、利用者の減少に伴い、多額の執行残が生じる状態が続いているが、執行残については、少年自然の家を訪れる利用者の利便性や快適性が向上するよう、こどもの国エリアを含む施設の利便性・快適性の向上に資する事業に効果的に活用すること。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

利用者へのアンケート調査や実施事業への参加率などを参考に、利用者の満足度向上を図るとともに、業務計画書等に沿った適正な施設運営に努めている。
また、令和3年度からは感染対策に留意しながら、自主事業も順次実施しているものの、新型コロナウイルス感染拡大防止への臨時特別協力要請なども踏まえ、全面的な再開には至っていない。
一方で、令和3年度には自主事業として、愛宕山こどもの国を含むエリアの利便性向上のため、園内への仮設トイレの設置や園地整備などに積極的に取り組んでいる。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立愛宕山少年自然の家
 所管課 子育て支援局 子育て政策課
 指定管理者 公益財団法人山梨県青少年協会

1 利用状況

(単位:人、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	施設利用者数	18,138	14,656	12,445	2,162	2,928
	事業参加者数	584	582	444	308	405
	利用者数合計	18,722	15,238	12,889	2,470	3,333
	目標値	20,659	21,072	19,096	19,477	2,628
	実績/目標割合	90.6%	72.3%	67.5%	12.7%	126.8%
	目標値の設定方法	H30年までは、前年度目標値の2%増で設定されていた。 R元以降は、H29の実績値18,722人を基準として、毎年2%増とする 現指定管理者の募集提案時の目標値を設定。 R3: 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえR2実績の2%増を目標値として設定				
利用率	稼働率等(利用率)	40.1%	32.8%	29.2%	6.2%	8.4%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用部屋数/宿泊可能部屋数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	(1)山梨県立八ヶ岳少年自然の家:定員210人 (2)山梨県立ゆずりはら青少年自然の里:定員100人
----------	---

3 補修工事等の状況(令和3年度)

(単位:円)

管	冷却塔ベッセル漏水修繕	118,800
管	二階通路天井工事	91,000
管	三階ホール天井工事	76,000
管	事務所前通路天井工事	66,000
管	事務所前通路工事外7件	471,438

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	<p>【調査項目①②④】 実施時期:令和3年4月～令和4年3月 実施方法:利用者へのアンケート 回答数:56人</p> <p>【調査項目③】 実施時期:令和3年4月～令和4年3月事業実施時 実施方法:事業参加者へのアンケート 回答数:223人</p>			
		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満
①施設・設備の状況	69.0%	29.0%	1.3%	0.7%
②職員の対応	93.6%	6.4%		
③事業内容	86.5%	13.0%	0.5%	
④食堂の内容	81.7%	11.3%	6.1%	0.9%
施設全般の満足度	77.8%	22.2%		
利用者の主な意見	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節的なものもあると思いますが、毛虫が多くて驚きました。 ・通路の一部に暗いところがあるので明るくしてもらいたいです。 ・皆さん優しくて親切でよい時間を過ごしました。ありがとうございました。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルや旅館に宿泊するのとはまた違い、良い経験になった。 ・里山を歩きながら、久しぶりに季節を感じることができた。 			
利用者の意見への対応	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛虫は、園内の樹林で繁殖したマイマイガの幼虫です。周期的に大発生しているため、対策として歩道にせり出した樹木の剪定に努めます。 ・通路上に設置された非常用電灯の下は他の場所より暗くなっています。また、使用していないフロアと部屋、消灯後(22時以降)の照明については、省エネの観点により、消灯していることをご理解いただけるようにご案内いたします。 			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>施設管理全体について、関係法令を遵守し、点検整備を行うとともに、専門知識を必要とする設備については外部委託により、適切に維持管理業務を実施した。</p> <p>また、職員で対応できるものについては、建物の巡回・点検整備を適切に実施した。</p>	<p>計画における業務は適正に執行されている。</p> <p>引き続き、適正な維持管理を行うとともに利用者に快適に過ごしていただけるよう、こどもの国エリアを含む施設の改善等にも努めること。</p>
運営業務	<p>新型コロナウイルス感染症対策として、利用者には、申込から利用時まで、自然の家ガイドライン及びグリーン・ゾーン認証基準の遵守を徹底した。</p> <p>利用団体との事前打ち合わせも、原則として電話で行うなど、安心・安全な管理・運営に努めた。</p>	<p>利用者の安全対策を図り、適正に執行されている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策も徹底されており、利用者の安心・安全に配慮した管理・運営が行われた。</p> <p>引き続き、十分な安全対策、感染症対策を図り、安心・安全な管理・運営に努めること。</p>
利用状況	<p>令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数、稼働率ともに平常時に比べて大幅に減少した状況が続いている。</p> <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止への臨時特別協力要請なども踏まえ、全面的な再開には至っていないが、感染対策に留意しながら、魅力的な自主事業も順次実施するよう努めた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛傾向の影響もあり、平常時に比べて利用者数が減少していることについて理解はできるが、引き続き、利用者の属性やイベントの実施時期等の分析などを行い、その結果を踏まえながら、閉所するまでの間、できるだけ多くの方に利用していただけるよう事業を展開するとともに、広報活動も積極的に行うこと。</p>
収支状況	<p>利用者の減少により、光熱水費(電気・水道)や燃料費(重油)、使用料(シーツ・枕カバー)などの支出が抑えられたことで、多額の執行残が生じている。</p> <p>収支の執行残は、令和4年度に自主事業として行う、こどもの国エリアを含む施設の環境改善のための整備事業等に活用していく。</p>	<p>利用者数の減少等により、令和3年度も1千万円を超える執行残となっている。</p> <p>執行残については、新型コロナウイルス感染症収束後、多くの方に愛宕山こどもの国に訪れていただき、快適に過ごしていただけるよう、こどもの国エリアを含む施設の利便性向上に資する事業に効果的に活用すること。</p>
自主事業	<p>感染対策に留意しながら、自主事業も順次実施しているものの、新型コロナウイルス感染拡大防止への臨時特別協力要請なども踏まえ、全面的な再開には至っていない。</p> <p>また、県の指導を踏まえ、これまで得た収益の還元のため、園内への仮設トイレ設置や園地整備など、愛宕山こどもの国エリアを含む施設利用者の利便性や満足度向上に向けた自主事業を実施した。</p>	<p>予算を効果的に活用するため、園地整備など愛宕山こどもの国エリアを含む施設利用者の利便性や満足度向上に向けて事業を実施したことは評価できる。</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を始め、利用者の安全対策を図った上で、利用者を楽しんで頂ける事業や快適に過ごしていただくための施設改善などを企画し、閉所するまでの間、できるだけ多くの方に利用していただけるよう努めること。</p>
利用者満足度	<p>対応やサービス面など高い満足度が得られている、今後とも更なるサービスの向上に努めていく。</p>	<p>概ね高い評価を得ている。</p> <p>引き続き利用者の満足度向上に向けた取り組みを実施すること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

8 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
職場体験事業	<p>愛宕山少年自然の家における実習をとおし、青少年の健全育成に対する理解を深め、早い段階から将来への明確な目標を構築してもらうため、職場体験・インターンシップを受け入れる人数を評価指標とし、目標値5人を設定した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症への不安はあったが、感染症対策に留意しながら、受け入れを調整した結果、受け入れ実績は5人となり、目標を達成した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、教育現場においては実習受け入れ先の確保に苦勞する状況があるため、引き続き、感染症対策に留意しながら職場体験・インターンシップを受け入れること。</p>
里山再生事業	<p>里山で採取されたツルや木の実を使った工作体験などを通し、甲府の里山として親しまれている愛宕山に対する理解を深めていただくため、イベントの参加者数を評価指標とし、目標値を30名とした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、周知・募集を行った結果、イベントへの参加者数の実績は30人となり、目標を達成した。</p>	<p>愛宕山に対する理解を深めていただく意義のある事業であるため、引き続き、感染症対策に留意しながら事業を実施すること。</p>
自然体験事業	<p>施設の特長、立地条件を活かし、自然に触れあう機会の提供を推進するため、イベントの参加者数を評価指標とし、目標値を210人とした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、周知・募集を行ったが、イベントへの参加者数の実績は160人となり、実績が目標値を下回った。</p>	<p>季節ごとに実施されている「あたごやま自然観察会」の冬の開催回について、77名の参加申込があったが、新型コロナウイルス感染拡大防止臨時特別要請が出されたことにより、中止となっている。</p> <p>目標は未達成であったが、事業に対するニーズは高いため、引き続き感染防止対策に留意しながら事業を実施すること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在

